

# オールふじみ野未来政策会議

平成26年度 第1回ミーティング 於 ふじみ野市役所

2014年07月09日(水) 19時～20時30分

# 本日のプログラム

1. 挨拶 ふじみ野市 市長 高畑博
2. アイスブレイク (20分)
3. オールふじみ野未来政策会議のゴール・進め方 (5分)
4. ふじみ野市の現状 (5分)
5. 検討対象の状況・参考事例 (15分)
6. 社会教育団体について (5分)
7. ワールドカフェ～未来・理想の公民館～ (30分)
8. アンケート記入・次回までの宿題確認

# 挨拶

ふじみ野市 市長 高畑博

# アイスブレイク

お互いに仲良くなるためのきっかけづくり

# タコしょうかい

気軽にやりましょう

ご存じですか？

やったことがある人は、「はじめてやる風」でお願いします

# タコしょうかい

1. グループの中で、お誕生日の遅い順（12月が最初、1月が最後）に、時計回りに座り直してください。
2. つぎに、1番と2番、3番と4番・・・と2人1組を作ってください。（奇数はスタッフが入ります）
3. ペアができたなら、各1分間（携帯のタイマーで計ります）で自己紹介をしあってください。
4. それをよく聞いて、1番から順番に、グループ全員に「自己」ではなく「たこ（他己）」紹介を1分間で話してください。一周したら終わりです。

たこしょうか  
いの時  
ニックネーム  
(プロジェクト・グ  
ループ内  
での呼び方)  
をつけてあげ  
て、  
紹介すること

# タコしょうかい

いかがでしたか？

面白かったら、どこかで使ってみてください

# オールふじみ野未来政策会議の ゴール・進め方

参加者みなで共通していただくこと



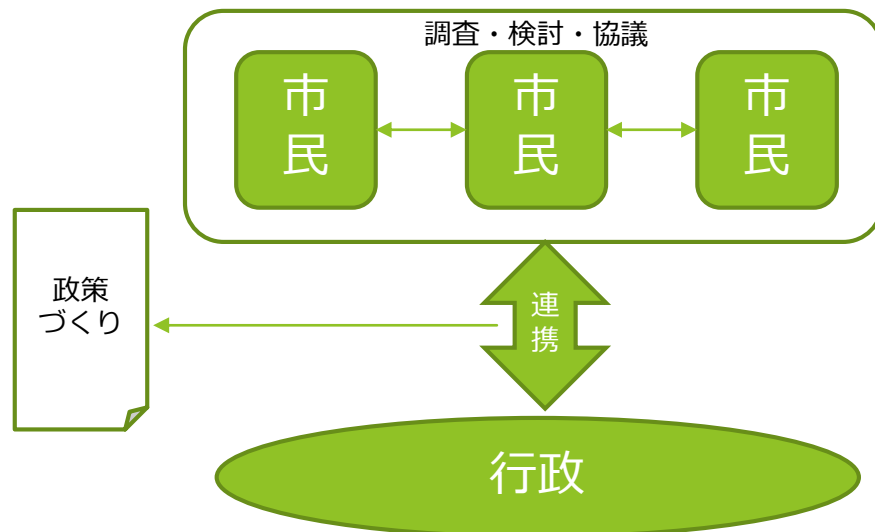
# オールふじみ野未来政策会議とは・・・

1. 平成25年から始まった取り組み
2. 市民が参加して、未来のふじみ野の政策づくりにチャレンジ（平成25年夏版／冬版）
3. すべて（オール）のふじみ野市民の思いをつなぐ
4. 最終的な政策の選択・決定は、市の責任・役割
5. それに参考となる未来に向けた政策を、「市民目線」で考えるプロジェクト
6. 結果ではなく、過程（プロセス）を大事

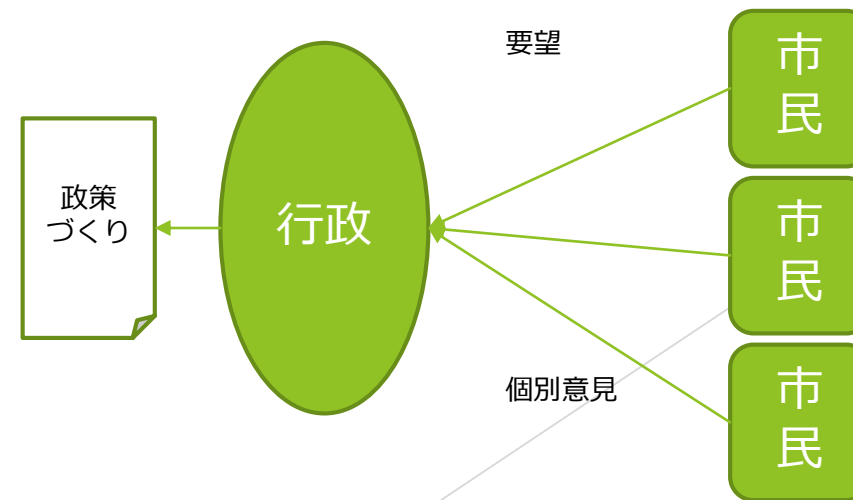
# オールふじみ野未来政策会議の めざすもの

【市民共働による政策づくり】をめざす  
市民同士の協議を参考に地域政策をつくっていく

## 目指す姿



## 現在の形



# オールふじみ野未来政策会議の 進め方は？

1. 最も重要なこと  
【楽しくやること】 【仲良くやること】
2. 肩の力をぬいて、ラクにやりましょう

# オールふじみ野未来政策会議の 進め方は？

1. プログラムは全部で6回  
(各回19時～20時半 市役所5階会議室)
2. 初回はランダムなグループですが、次回(第2回)から3つのグループに分かれて、活動します。  
グループとしての意見をまとめていただきます。
3. 最終回は「公開討論会」  
(11月16日(日)13時～17時 市民交流プラザ 多目的ホール)  
3グループが発表し、相互+当日参加者を交えて  
質疑応答や話し合いを行います。

# オールふじみ野未来政策会議の 進め方は？

回	日程	内容
1	7月9日（水）	アイスブレイク、事業概要の共有、ワールドカフェ
2	8月20日（水）	グループ分け、役割分担、発表フォーマットの提示、グループ内での話し合い（論点整理）、視察先の調整
3	9月24日（水）	フィールド調査（現地集合・現地解散） ※必要に応じて市役所に集まる
4	10月8日（水）	フィールド調査の結果報告、各グループに分かれての発表内容の検討、調査の役割分担、発表骨子づくり
5	11月5日（水）	発表内容のとりまとめ、パワーポイントづくり、想定される質問・回答づくり
6	11月16日（日）	公開討論会 市民の方を交えての議論 ※たくさんの市民を集め、市民議論を盛り上げましょう

# オールふじみ野未来政策会議で みんなで共有すること（ルール）

1. 会場に入ったら「ニックネーム」で呼ぶこと
2. みんなの時間を大切にすること
3. ほかの人を傷つけたり、不快にさせないこと
4. グループ、プロジェクトのメンバーと一緒に仲良く、楽しくやること
5. 自分でできることは、自分でやること
6. お互いを尊重し、認め合うこと
7. プロジェクトのゴール達成に向けて協力すること

# オールふじみ野未来政策会議のテーマ 【公民館のあり方（受益者負担）】

今回のテーマは、公民館のあり方を取り上げます。  
次回から以下の3つのグループに分かれて、調べたり、  
話し合ったりして、発表内容をつくっていきます。

Aグループ 受益者負担は必要

Bグループ 施設の維持管理・運営などを市民や団体等  
に委ねることは可能ではないか

Cグループ 受益者負担は不要

## 受益者負担とは・・・

公共施設の建設・運営・維持管理・撤去は、公益的な機能を有するところは、市民全員が公平に負担する税金によって費用をまかなうことが原則です。

しかし、一部の施設に関しては、施設の利用が一部の利用者に偏っていたり、時代の変化とともに民間で同様のサービスを提供する状況が生まれてきました。

そのような場合、トータルのコストのうち、公共的部分は税金で負担し、それ以外の部分を受益者（施設等を利用する人）に負担してもらうことを「受益者負担」といいます。

公共施設等の建設・運営・維持管理・撤去等の費用（トータルコスト）

税金による負担

受益者による負担（利用料）



# オールふじみ野未来政策会議のテーマ 話し合い・検討に当たっての留意点

- 今回の未来政策研究会の議論が、市や現実の公民館のあり方等に直接的な影響を与えるものではありません。（議論を参考に市が政策をつくっていきます）
- 2回目でグループを分けますが、話し合っているうちに、違うグループに移りたいということがあれば、移ることができます。
- 個人・団体の意見・見解などを他のひとに「押し付ける」ことはしないでください。参加したひとみんなが、同じ立場で意見を言い、意見を聞いてください。

# オールふじみ野未来政策会議のテーマ 話し合い・検討の前提条件

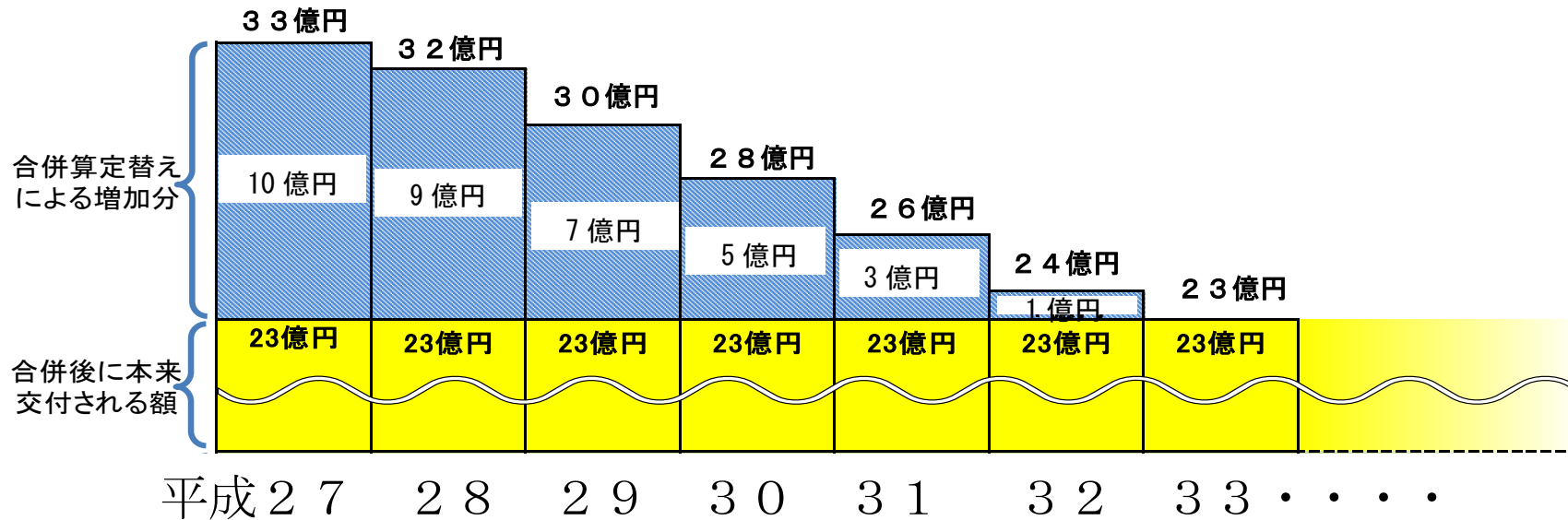
- 現状・現実に関しては、正確な情報を調べてください。断片的な情報、一方的な解釈には注意すること。
- 現実の法律や制度の枠組みを前提として検討を進めてください。現状を棚にあげての議論には注意。
- 単なる考え方、主張の発表ではなく、その根拠や改善方法などを含めた「説得的な発表」にしてください。
- 改善方法などは、特区や財源、方法を含めて、実現可能性のある内容としてください(実現可能性のない提案はNG)
- 市の協力の下、必要な情報は最大限提供します

# ふじみ野の現状

リアルな状況・数字・データ

# ふじみ野市の財政

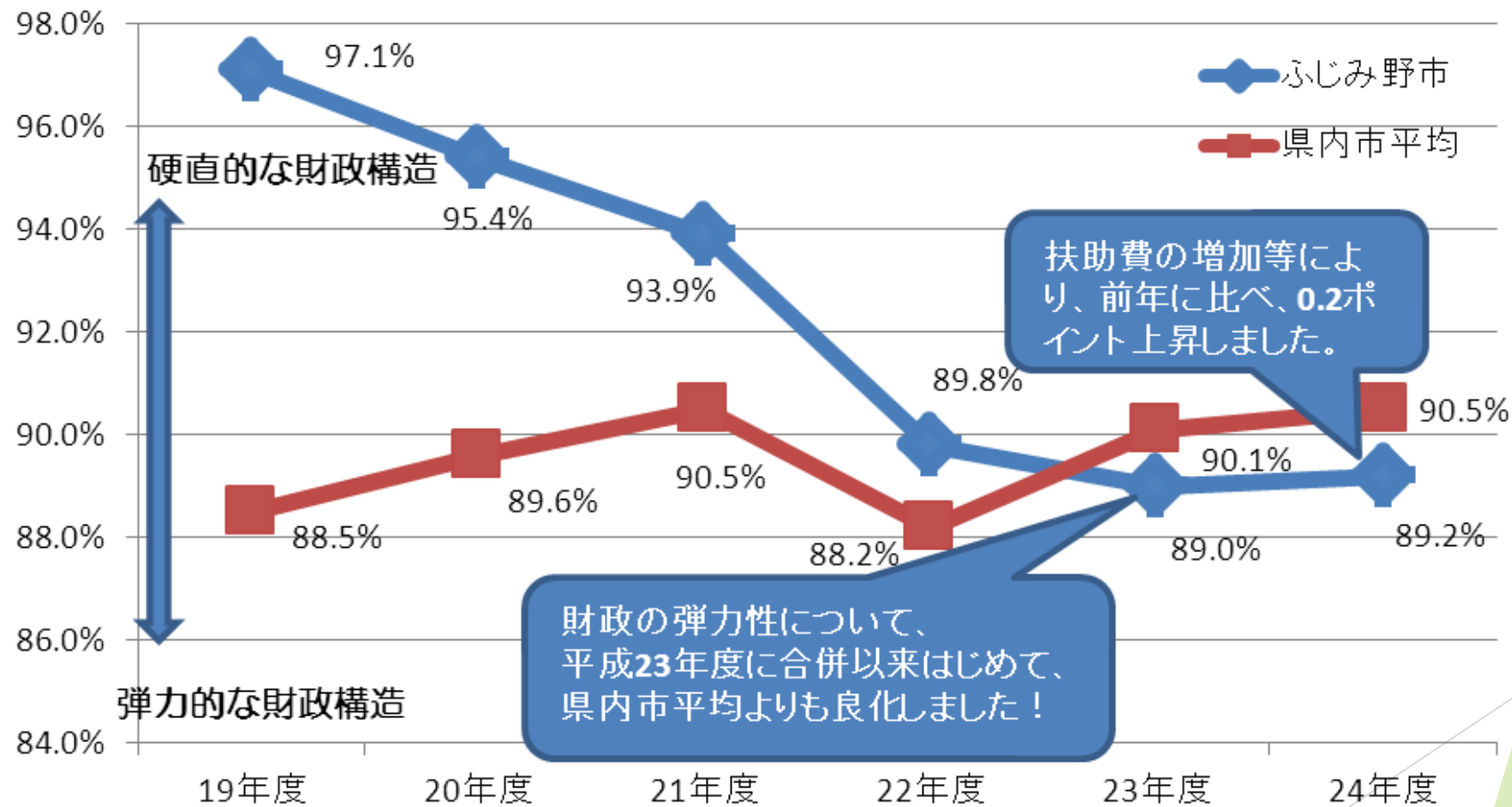
平成25年度交付税ベースでみた普通交付税の推移



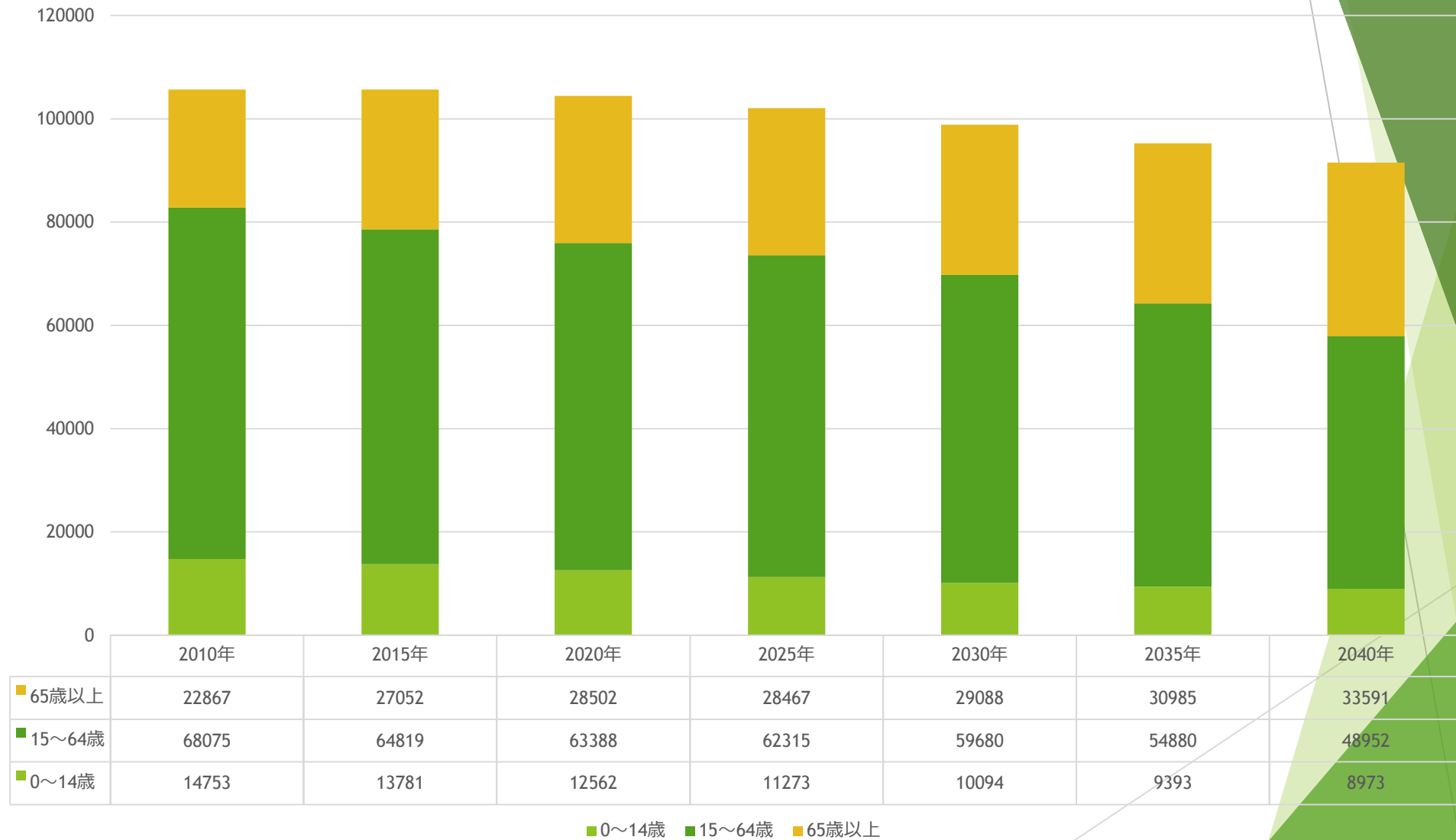
※後年度における合併特例債の償還に係る増加分は加味していない。

# ふじみ野市の財政

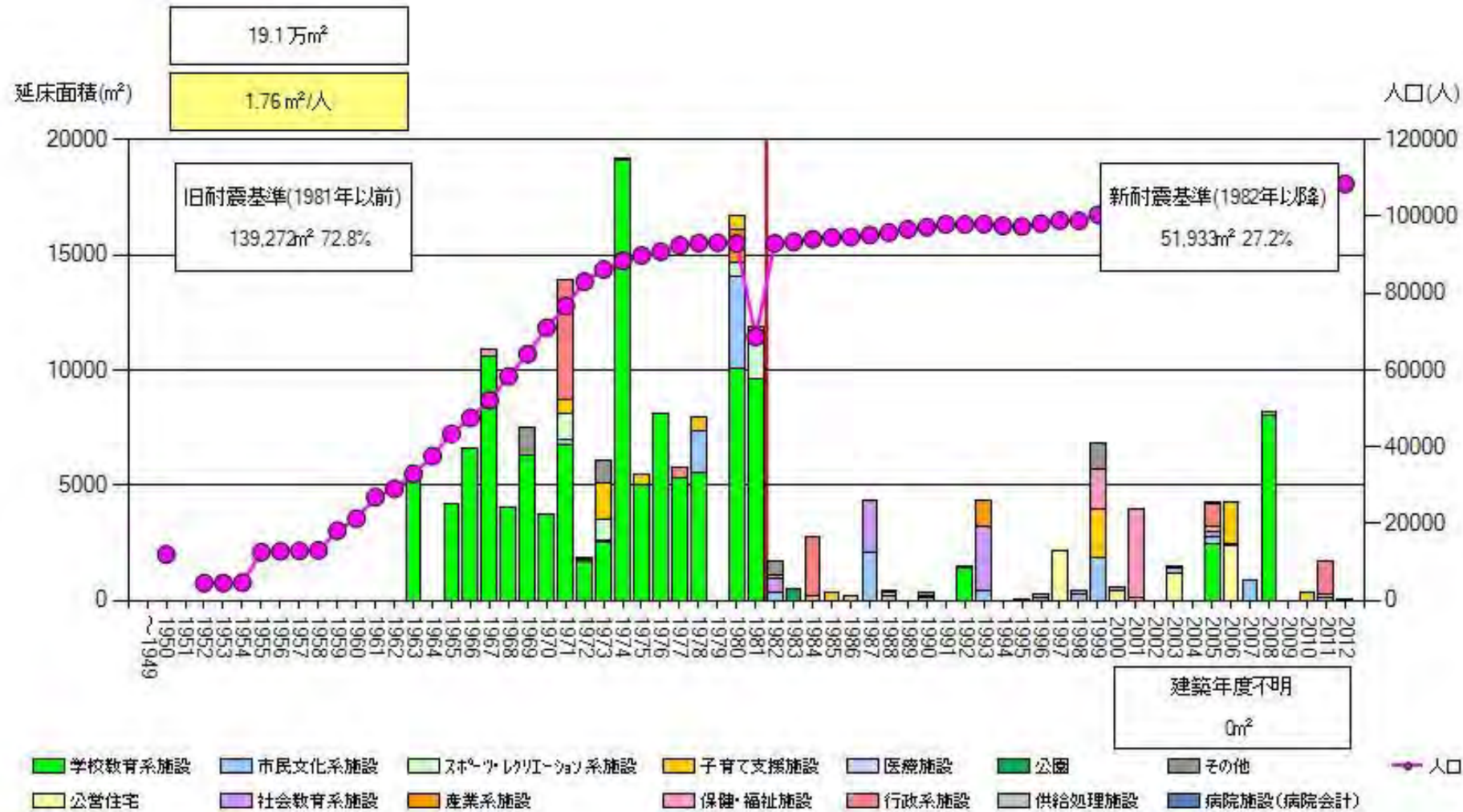
## 経常収支比率の推移



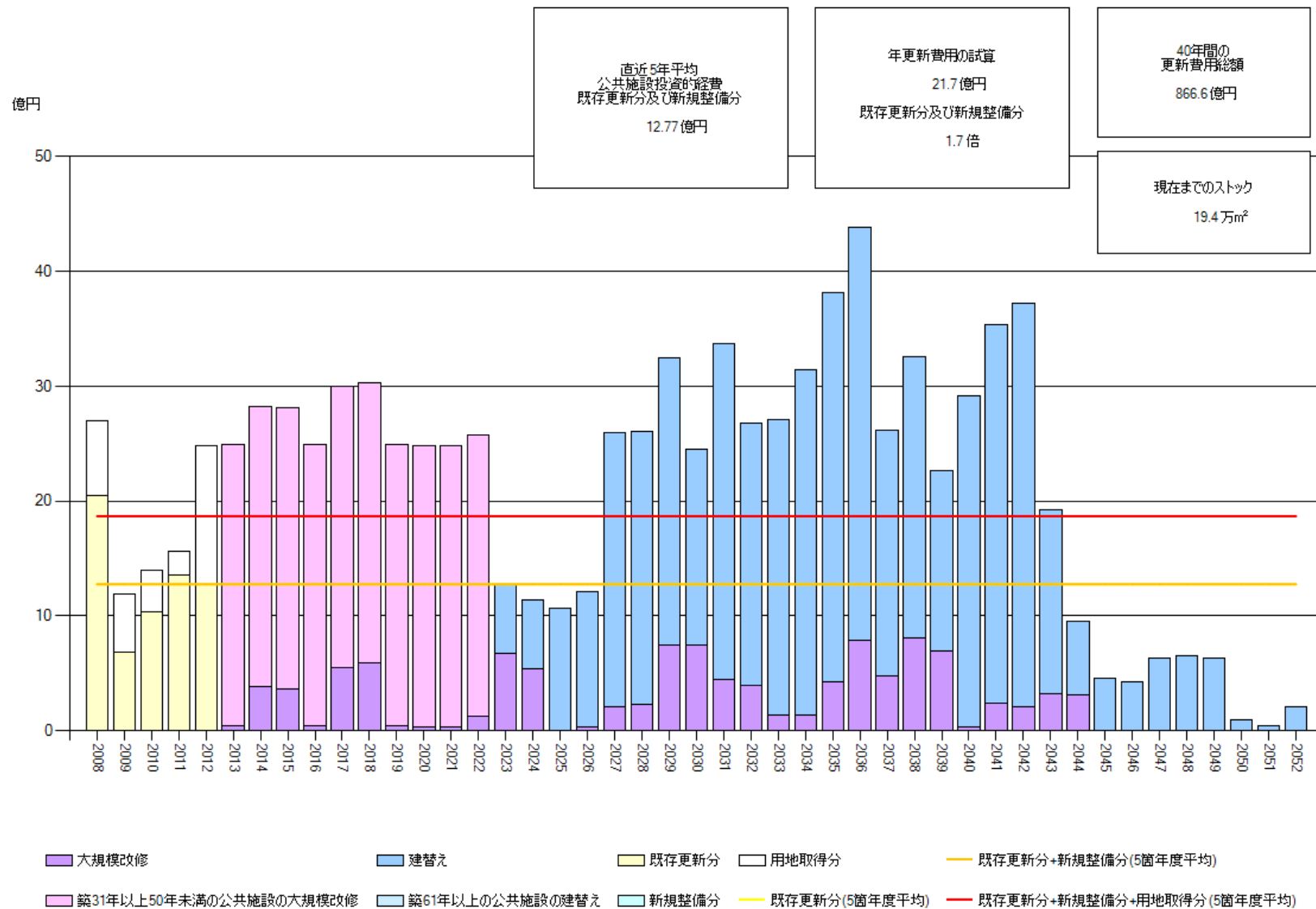
# ふじみ野市の人口



# ふじみ野市の公共施設



# ふじみ野市の公共施設

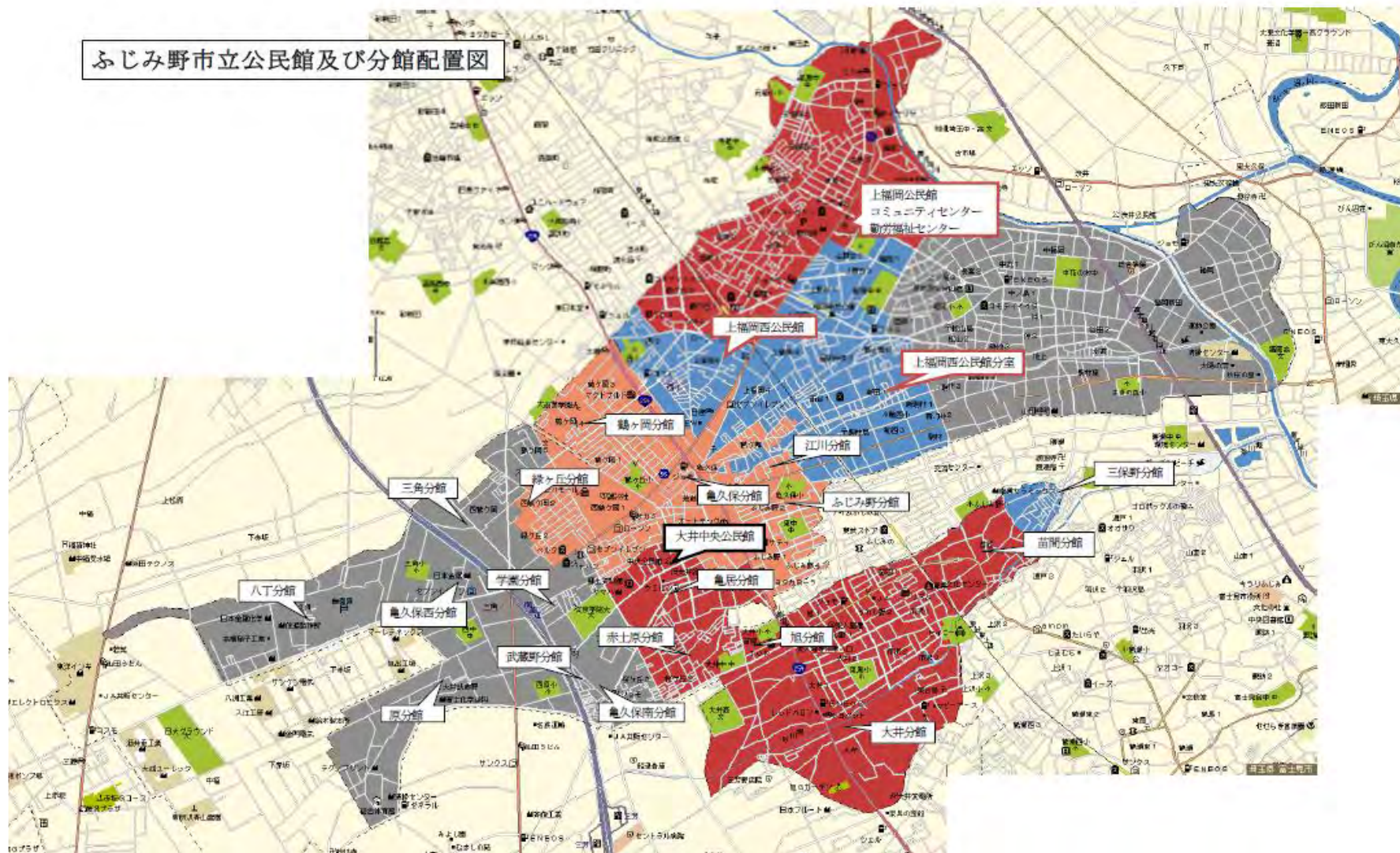




# 検討対象の状況・参考事例

# 検討対象（公民館）の状況

ふじみ野市立公民館及び分館配置図



# 検討対象（公民館）の状況

使用料減免実団体数および減免金額				
	実利用団体数 (A)	うち減免 実団体数 (B)	減免金額 (円)	実団体数に対する 減免実団体の割合 (B/A)
大井中央公民館 ※1	310	283	10,792,300	91.3%
分館(全体) ※2	509	416	2,874,800	81.7%
上福岡公民館 ※1	211	204	839,950	96.7%
コミュニティセンター ※1	212	174	614,800	82.1%
勤労福祉センター ※3	64	—	1,390,600	—
上福岡西公民館 ※1	351	341	4,164,200	97.2%
上福岡西公民館分室 ※1	36	35	65,850	97.2%
集計期間				
※1 H25.7.1～H26.6.30				
※2 H25.4.1～H26.3.31				
※3 H25.7.1～H26.3.31				

# オールふじみ野未来政策会議のテーマ を考えるヒント

3つのグループに参考となる事例をいくつか紹介

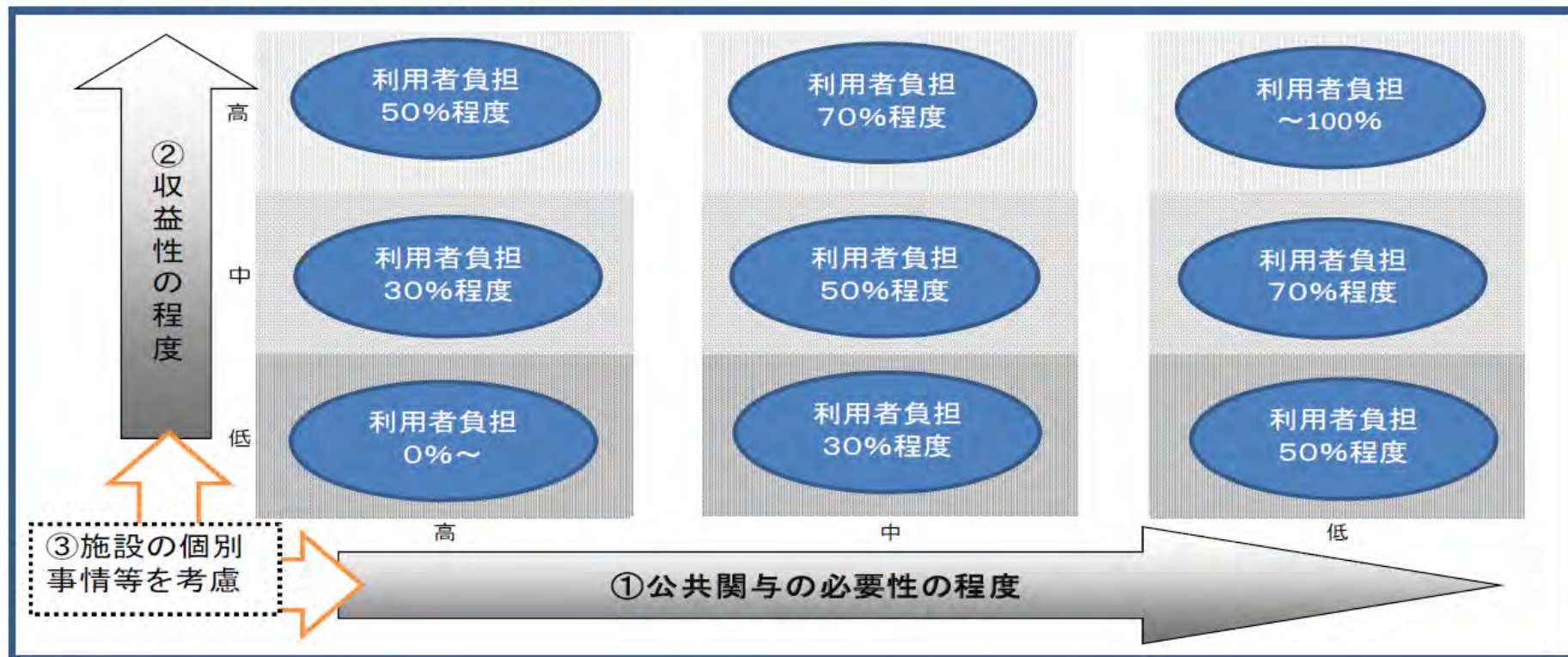
Aグループ 受益者負担は必要

Bグループ 受益者負担は不要だが、施設の維持管理・  
運営などを市民や団体等に委ねることは  
可能ではないか

Cグループ 受益者負担は不要

# Aグループの参考事例～横浜市～

＜標準的な負担割合と代表的な施設例＞

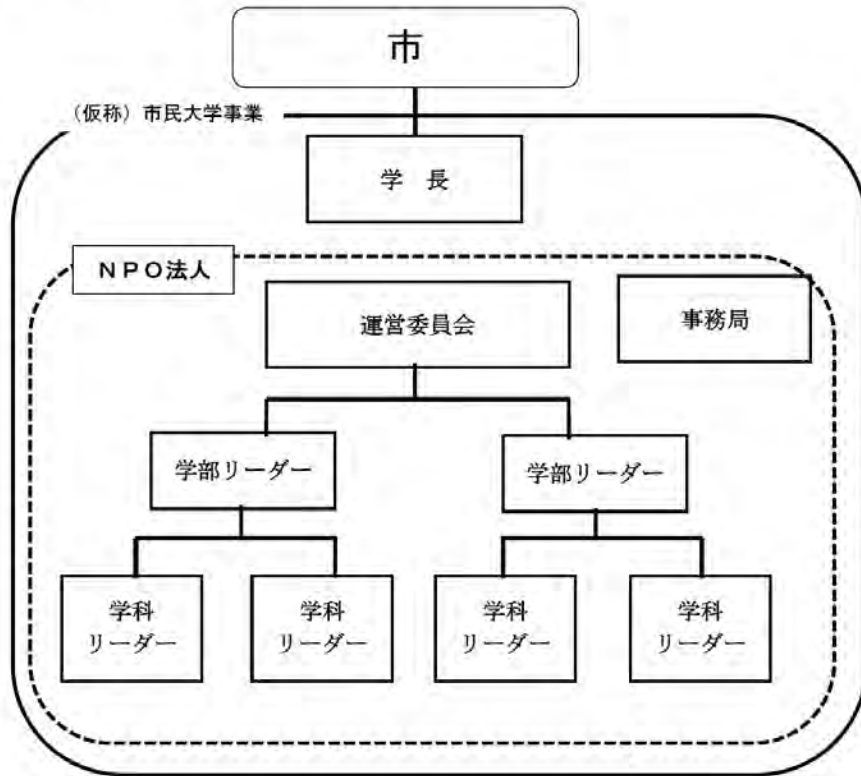


- 利用者負担が無くて良いと考えられるもの（すべて市の負担）
  - ・ 防災関係施設 ・ 保護施設
- 利用者負担が低く、市の負担の方が高くて良いと考えられるもの（利用者負担3割、市の負担7割程度）
  - ・ 福祉活動 ・ 交流施設 ・ 公会堂/小規模ホール ・ 青少年育成施設/交流施設 ・ 運動広場/体育館/体育室
- 利用者負担と市の負担が半々程度で良いと考えられるもの（利用者負担5割、市の負担5割程度）
  - ・ 会議室/研修室 ・ 大規模ホール ・ 火葬施設
- ほぼ全額利用者負担で良いと考えられるもの
  - ・ テニスコート/トレーニング室/フットサル場 ・ レクリエーション施設 ・ 墓地/墓園/霊園 ・ 斎場（葬祭ホール）

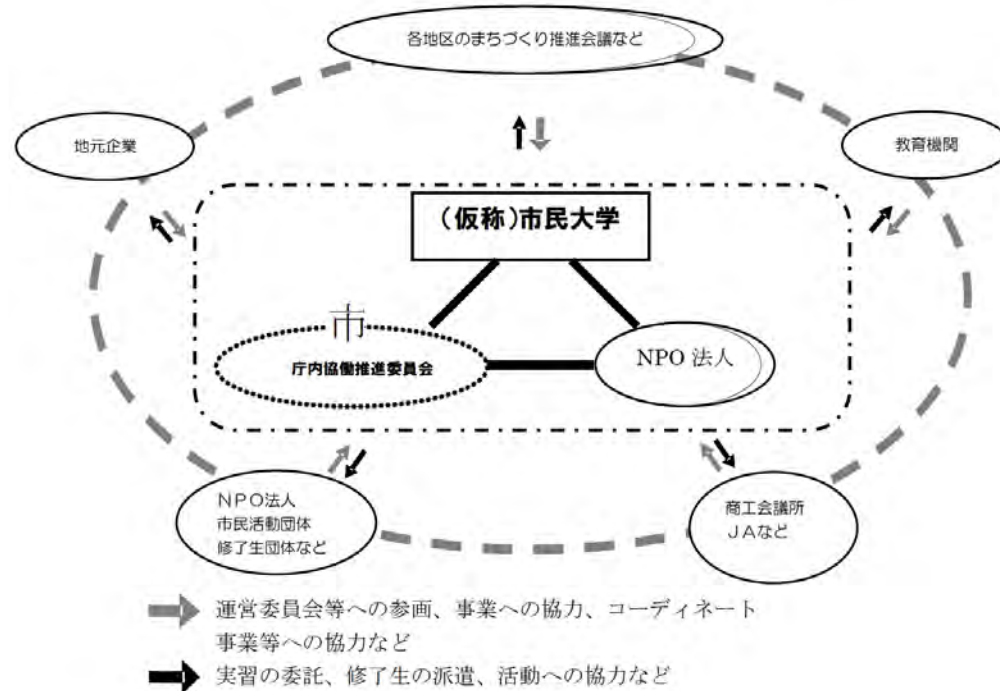
# Aグループの参考事例～狭山市～

## さやま市民大学の事例

(仮称) 市民大学事業の運営組織図



(仮称) 市民大学が目指す市内の各種関係団体との連携イメージ図



参加者からは600円から900円程度の受講料（受益者負担）を徴収する。  
廃校になった学校をリノベーション（改修）して施設整備を行った。

# Bグループの参考事例～北栄町～

## 公民連携・地域主体による公民館運営(鳥取県・北栄町)

対象施設	由良宿の町中央公民館大栄分館
外部委託先 委託方式	【委託先】NPO法人まちづくりネット (町女性団体連絡協議会役員と趣旨に賛同する町内の主婦の6人で構成) 【委託方式】指定管理者制度
委託内容	■分館の管理・運営 ■窓口業務 ①部屋使用許可及び使用料の收受 ②体育施設の鍵貸し出し ③コピー機、印刷機利用者の対応及び使用料の收受 ④その他 ■地域子ども教室推進事業(子どもほくえい塾) ■21世紀をつくる青少年育成事業(中・高校生サークル) ■町民向けの講座 ほか
委託経緯	地域住民による団体に管理運営を委ねることにより、住民のニーズをよりの確にとらえ、時代に即した事業を創造し、情報提供や支援活動等、なお一層の住民サービスを図ることを目的に、3年間の契約期間で指定管理による委託を行った。
効果	■年間利用者:2008年度約2万4千人→2009年度約3万6千人に増加。 月平均利用者が約千人増 ■開催イベントから住民サークルが生まれる等、新たな地域住民の交流の場を提供



由良宿の町中央公民館大栄分館



公民館内部

# Cグループの参考事例～ふじみ野市～



# 社会教育団体について

# 未来・理想の公民館

みんなが考える「行く」「使う」公民館は？

ワールドカフェ

ふじみ野の  
未来・理想の公民館を  
みんなで考えよう

## 21世紀型タウンミーティング

アメリカでは、1990年代後半から、ミーティングの中に地域の縮図（人種、性別、年齢、職業等の軸から）を創り、市民が公共の意思決定に参加するための機会をつくり出す、「21世紀型タウンミーティング」という大規模な市民参加の話し合いの場が各地で行なわれています。

例えば、2002年ニューヨークで開催されたタウンミーティングには4,300人を越える市民が参加し、テロ被害を受けたワールド・トレード・センター跡地の周辺をいかに再開発していくかについて、皆が話し合いを行い、その結果が当時のニューヨーク州知事に提言され、再開発に大きな影響を与えました。

日本においては、市民参加を実現していく上で、特定の人のみが参加するのではなく、まちづくりに関心がない人も含めて、多様な人々の参加をいかに即していくかが大きな課題となっています。

## ワールド・カフェとは

ワールド・カフェは、1995年にアメリカで開発された、「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考え方に基づいた話し合いの手法で、世界中に普及し、ビジネスはもちろん、NPOや市民活動、政治、教育等、様々な分野で活用が進んでいます。

社会変化の速度が加速し、社会環境の変化は激しくなると共に、複雑化してきた事で、これまでの様に、単純化した1つの目的のために、組織が1つの考えに基づきトップダウンで課題に取り組みれば解決していくという時代ではなくなりました。複雑化した難題を乗り越えるためには、個人のカや知恵でなく、組織に所属する人々の知恵を集合知として共有、連動、発展させて考えていく事が求められています。

話し合いの中で良いアイデアが浮かんだり、発見したりするのは、フォーマルな会議ではなく、休憩室での雑談中や、居酒屋でお酒を飲んでいる時だったりするものです。こうしたリラックスして、オープンに本音を語る事ができるインフォーマルで「カフェ的」な話し合いの場を提供する方法として、世界中で、このワールド・カフェが用いられています。

## ルール

意見・アイデアは付箋に書いて  
それを貼りながら手短かに説明

みんなが少しでも多くの回数  
話せるように協力

## セッションの進め方（3セッション共通）

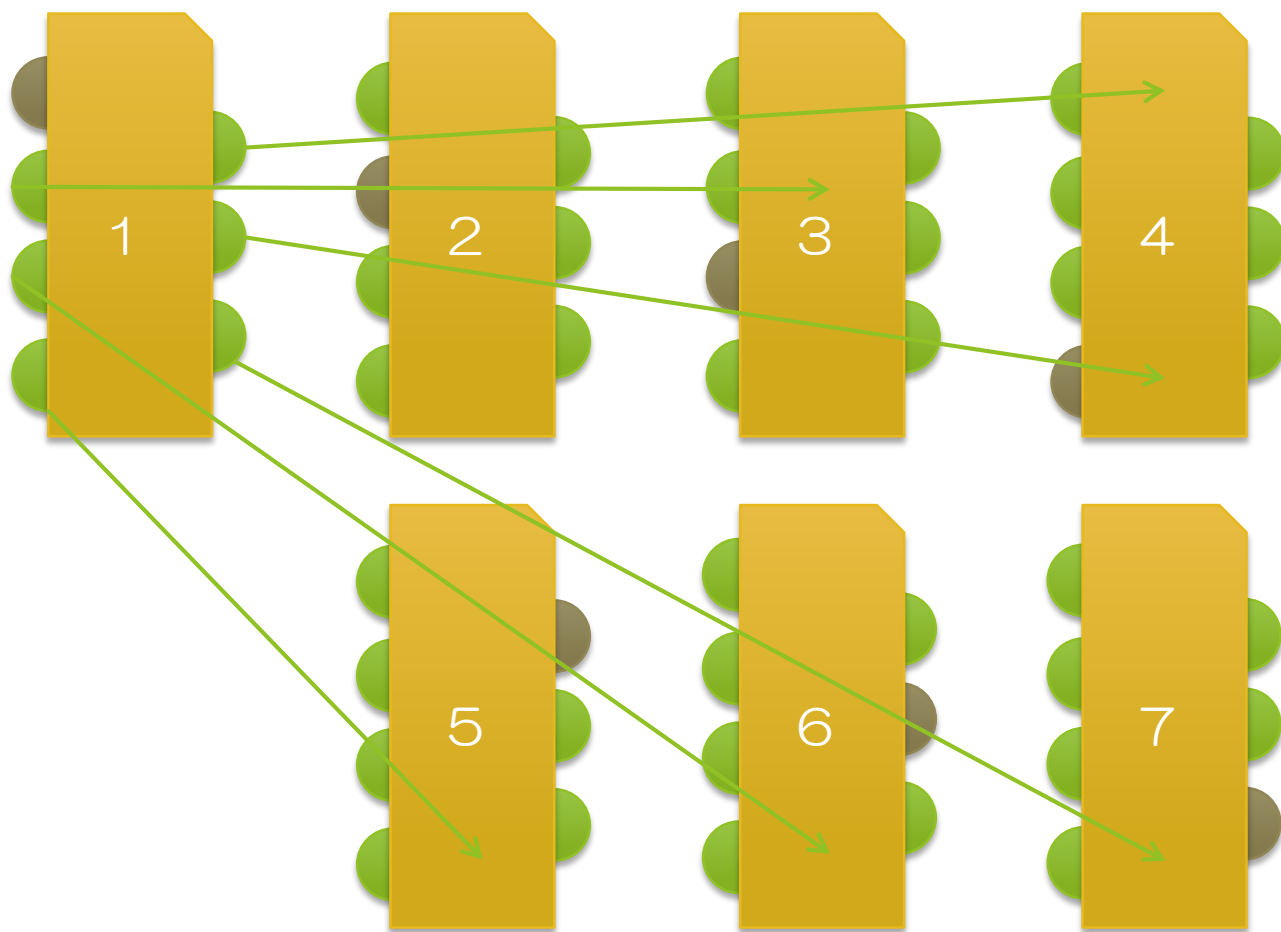
【最初の1分】 アイデア、絵を書く

【 つぎの5分間（2－7分） 】

- ①順番に発表・貼り付け
- ②全員が話したあと話し合い
- ③結び付けや追加など

【最後の1分】 セッションの整理

セッションが終わったら、一人を残して他のテーブルに移動



セッションが終わったら、一人を残して他のテーブルに移動



## お題（テーマ）

ふじみ野市の  
未来・理想の公民館って  
どんなカタチ・イメージ  
でしょうか？

## お題（セッション①）

いまから10年後の公民館  
「こうなっていたらいいな」  
アイデア、カタチを集めましょう

## お題（セッション②）

「こうなっていたらいいな」を  
実現するために必要なこと・もの  
は何でしょうか？

## お題（セッション③）

「こうなっていたらいいな」を  
実現するために  
自分ができることは何でしょうか？

# アンケート記入・次回の宿題

## 次回に向けた宿題

- 次回までにどのグループに所属するか決める  
(メール・ファックス等により7月23日まで)
- 次回検討する「視察先」の候補について、  
インターネットなどで調べてくる